

総合福祉部会 第13回	
H23. 4. 26	参考資料6
三田委員提出資料	

大阪ピープルファーストからの意見書

総合福祉法にむけてきちんとした基本法が必要です

2010年3月5日

1 ピープルファースト大阪 中山 千秋

私は、知的障害を持つ43歳です。今、グループホームで暮らしています。

私は、子どものころから、施設に何回か入ったことがあります。

小学校5年生の夏にお母さんが亡くなり、妹と一緒に施設に入りました。土日はお父さんが迎えに来て、お父さんの寮で土日過ごし、日曜日の夜に施設に帰りました。お父さんと離れるとき、いつも泣いてました。先生たちはきびしなかったし、毎日つらかったです。家に帰りたいといつも思っていました。

小学校を卒業して、施設をやめ、お父さんと妹と一緒に暮らしました。

中学校に上がって、私は、授業さぼったり、みんなと一緒に昼ごはん食べられませんでした。中学校1年生のとき、学校に養護学級はありませんでした。2年になって、養護学級ができて、担当の先生に、養護学級にはいりなさいと言われました。悲しかったです。何もできないから養護学級にいられたのか？担当の先生も、もうちょっと、授業とかクラスのなかまと一緒に過ごせるように、努力してほしいかったです。勉強ついてこられなかったら、別の時間で、勉強教えてほしいかった。先生は私の気持ちをわかってくれませんでした。私もみんなと一緒に、もっと勉強したかったです。

高校を卒業して、しばらく家におりました。22歳の時、仕事探したら入所施設を紹介されて、断っていいのかわからず仕方なく入りました。入った時は緊張して、みんなにご飯食べられませんでした。部屋は4人部屋でした。先生の言うこと聞かなかつたら、怒られたり、たたかれたこともありました。トラブルは日常茶飯事でした。おやつとられたりしたこともありました。毎日が戦いでした。私は「なめられたらあかん」と思い、ほうき持って追いかけたり、足蹴りとかしたこともありました。言葉づかいが男みたいになりました。つらくて、自殺をしようと思ったこともありました。近くに電車の踏切がありました。だから担当の先生にカウンセリング受けるように言われ、それから薬を飲むようになりました。2年でその入所施設はやめました。

入所施設は、プライバシーがあんまりないし、規則もあるし、毎日大変でした。時間も決まっているし、自由が少なく、辛かったです。私はもう二度と

入所施設には、もどりたくないです。苦しい思いはしたくないです。

地域生活は大変な事もあるけど、自由だから地域で暮らせる方がいいです。好きなことができるし、好きな人と暮らせます。障害者だから入所施設にはいるのは間違っていると思います。障害者も同じ生きてる人間だから、自由に生きていいと思います。

今の基本法のままでは、障害者の暮らしは少しも変わりません。ちゃんと、社会が変わるような法律にしてください。

2 ピープルファースト大阪 梅原 義教

僕は車椅子を使っていて、今、グループホームで暮らしています。今、35歳です。

僕は、3歳から12歳まで、入所施設にいました。入所施設にずっといて、10日に1回、3日間だけ実家に帰っていました。施設に帰るとき、いつも車の中で、行きたくなくて泣いていました。僕は、こどもの時は、ぜんぜんしゃべれませんでした。しゃべったのは、中学校のときです。言われてることはわかってたと思うけど、しゃべれませんでした。

施設では、訓練をしたり、リアカーに乗って散歩とかしていました。散歩はリヤカーに乗っていきました。メンバーが10人乗って、職員が2人で引っ張っていました。今思ったら恥ずかしいと思います。何でリアカーに乗ってたのかと思いました。

冬は半袖で雪の中に放り込まれました。夏は暑くても、みんなで扇風機が一個だけでした。風呂も決まって、だいたい6時半からお風呂に入って、8人でお風呂に入っていました。8人で入るから、せまかったです。

毎日訓練をやったのはしんどかったです。自分で着替えるのは決まりだったけど、僕は体があまり動かなくて、時間がかかってしんどかったです。訓練はきつかったです。テーブルを持って立つ訓練でした。みんなで10まで数えました。椅子を持って歩く訓練もしました。食堂まで歩きました。

施設に養護学校の先生がきて、勉強をしました。本当は僕もみんなと学校に行きたかったです。そのとき学校とか幼稚園とかあったのを知らなかったから、わからなかったけど。遠足とかも行ってみたかったです。

僕は今、プロ野球が大好きです。でも、施設にいたときは、プロ野球も知りませんでした。テレビはあったけど、高いところにあって、僕は見れませんでした。

トイレは子供用のおまるが部屋に置いてありました。僕は上手く使えません

でした。メンバーがたくさんいて、職員が少なくて、トイレ介護が間に合わなくて、布団に失敗することがありました。いつもそんな人が2～3人いました。

施設の中が一番きつかったです。僕は8年間いました。もうこんな思いはしたくないです。基本法は、僕たちが地域で暮らすことが決められていません。僕も、そのときは知らなかったけど、今思ったら、施設に行くのは悲しかったし、地域の学校に行きたかったです。ちゃんと僕たちが地域で暮らせるようにしてください。

3 ピープルファースト大阪 山田 浩

僕は、知的障害を持っています。今38歳です。今はグループホームで暮らしています。

僕は、高校をでたあと、親が決めて、山奥にある施設にいれられました。体験で1週間行きました。僕は嫌だと言ったけど、「しばらくここにいなさい」と言われて、嫌で、泣いたけど、がまんして、そこにいました。

施設では、朝から掃除して、ごはんたべて、作業したりして、夜は9時に寝ました。夜は職員が見回りにきました。怖い先生がいました。男の人で、怒って怒鳴ったり、作業の時「違う」と怒るのが怖かったです。怖かったからずつとがまんしていました。1週間ぐらいいて、親が迎えに来て帰りました。

体験のときは3人部屋でした。部屋に3人分のベッドがあっけいっぱいでした。他の人もいたからあんまり自分の物が置けません。部屋のメンバーのいいなりになるしかありませんでした。1日の時間が決まっていたし、のどが渴いても、時間までがまんです。部屋に入る時間になったら、トイレに行くのにも許可がいました。朝になると「起床!」と言って起こされます。

大きな施設で、人がたくさんいました。お風呂は、順番待ちでした。お風呂にはいる時間も短かいし、たくさんいるからどうしたらいいかわかりませんでした。

お母さんは「ここにいなさい」と言ったけど、僕は知らなかったし、まさかこんなところとは思いませんでした。

地域なら自由に過ごせます。好きなこともできます。今はグループホームで、自分だけの部屋があります。好きな電化製品を置いたり、ポスターを貼ったり、好きなミニカーを集めています。自由です。

基本法の案は、地域で暮らすことが、絶対約束されてません。仕方ないから施設に行く事になる人もでてくると思います。だれでも地域で暮らせることを

法律で決めてください。